

報道機関各位

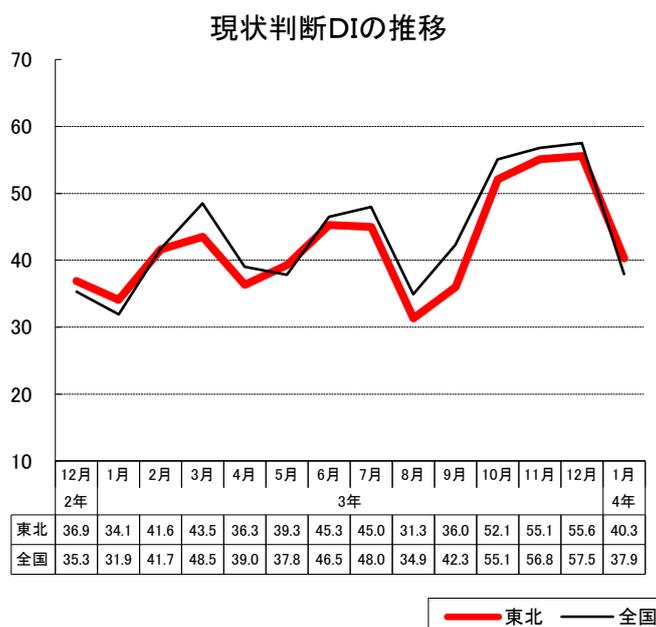
公益財団法人東北活性化研究センター
「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和4年1月 東北分
(東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：増子 次郎 東北電力株式会社 会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和4年1月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

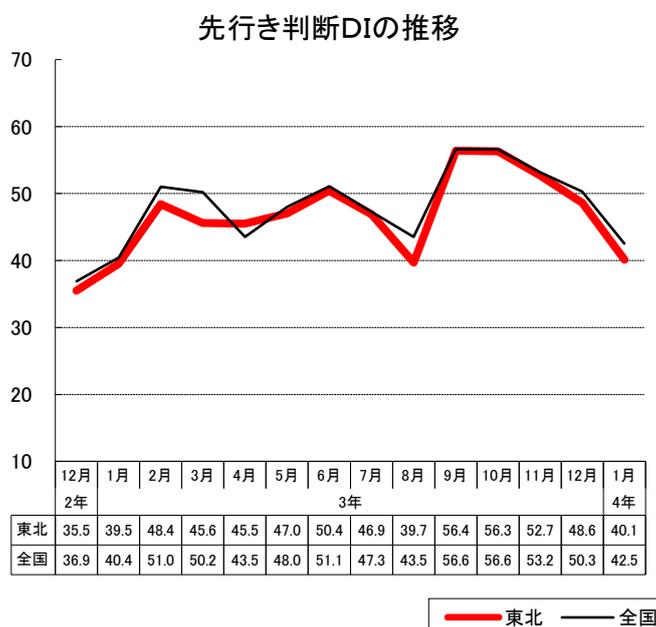
(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「40.3」と5か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲15.3ポイント低下した。



(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

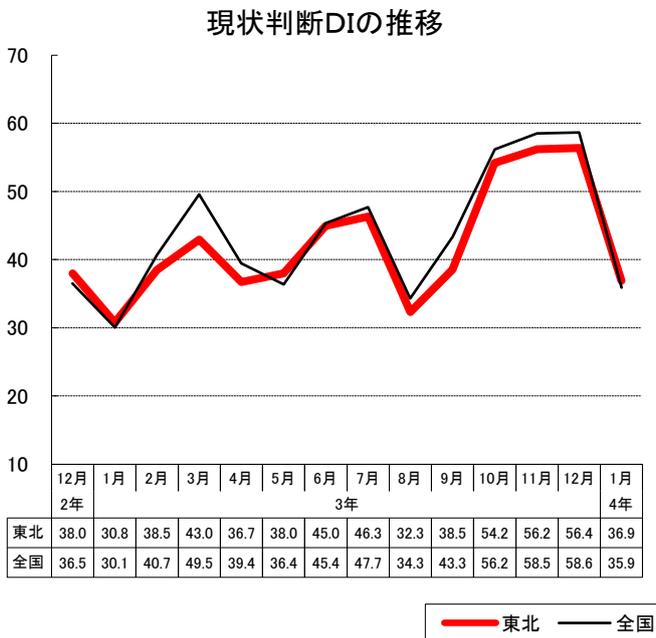
先行き判断DIは「40.1」と4か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲8.5ポイント低下した。



2. 原数値

(1) 現状判断 (3か月前との比較、方向性)

現状判断DIは「36.9」と5か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲19.5ポイント低下した。



○家計動向関連…スーパー、家電量販店の業種でDIが前月を上回ったが、一般小売店、一般レストラン、商店街等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「33.6」(▲21.8)と、5か月ぶりで前月を下回った。

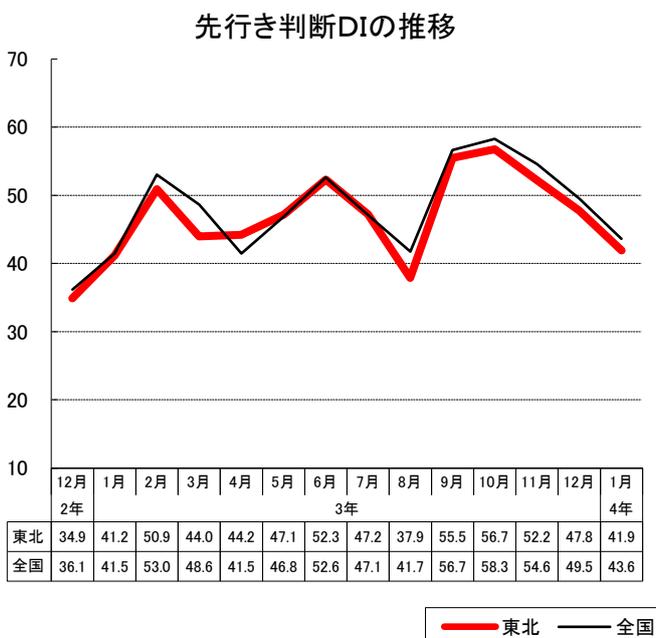
○企業動向関連…建設業の業種でDIが前月を上回ったが、輸送業、食料品製造業、広告代理店・広告業協会等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「40.0」(▲16.6)と、2か月ぶりで前月を下回った。

○雇用関連…DIは「51.3」(▲11.2)と、2か月連続で前月を下回った。

(2) 先行き判断 (2~3か月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「41.9」と3か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲5.9ポイント低下した。



○家計動向関連…観光名所・遊園地・テーマパーク、百貨店、一般レストラン等の業種でDIが前月を上回ったが、旅行代理店、観光型ホテル・旅館、コンビニ等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「40.9」(▲4.8)と、4か月連続で前月を下回った。

○企業動向関連…その他非製造業[飲食料品卸売業]、通信業の業種でDIが前月を上回ったが、司法書士・経営コンサルタント・会計事務所、金融業、土石製品製造販売等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「45.0」(▲6.5)と、3か月連続で前月を下回った。

○雇用関連…DIは「42.1」(▲12.1)と、3か月連続で前月を下回った。

<参 考>

■DIの推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）DI

	2年		3年										4年	
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
東北現状	38.0	30.8	38.5	43.0	36.7	38.0	45.0	46.3	32.3	38.5	54.2	56.2	56.4	36.9
家計動向関連	35.1	27.7	35.4	40.5	32.6	35.1	42.9	43.6	29.6	36.8	51.8	54.3	55.4	33.6
企業動向関連	44.1	34.8	45.6	50.8	46.3	41.2	49.3	50.8	37.5	43.4	56.6	55.1	56.6	40.0
雇用関連(参考)	45.0	42.5	45.0	45.0	45.0	50.0	50.0	55.0	40.0	40.0	64.5	69.7	62.5	51.3

（2）先行き判断DI

	2年		3年										4年	
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
東北先行き	34.9	41.2	50.9	44.0	44.2	47.1	52.3	47.2	37.9	55.5	56.7	52.2	47.8	41.9
家計動向関連	32.4	41.3	50.8	45.0	43.3	45.7	50.2	43.2	36.6	53.9	53.7	50.4	45.7	40.9
企業動向関連	42.6	43.2	54.4	40.9	46.3	47.8	54.4	55.3	43.8	56.6	58.1	54.4	51.5	45.0
雇用関連(参考)	36.3	37.5	45.0	42.5	46.3	55.0	61.3	57.5	36.3	62.5	72.4	59.2	54.2	42.1

※DI（Diffusion Index）について…50を基準とし、50を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和4年1月25日～31日

回答者数 170/189名、回答率 89.9%（全国 1,839/2,050名、89.7%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

<別紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（１）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（スーパー）…1月は平均1品単価が前年を超えている。食品等の値上げが相次ぎ、その影響が出てきたと考えられる。また、新型コロナウイルス新規感染者数の急激な増加により、巣籠り需要も始まり外食が減ったためか、食品小売の来客数は前年を超えている。ただ、買上点数が伸びず、客単価も前年割れだったので、全体としての消費は前年同様、横ばいの推移となっている。

（家電量販店）…前年末に支給された10万円の子育て世帯への臨時特別給付で消費が拡大している。買換え需要のほかに、オーディオ製品などの購入も増えている。客の消費動向に良い影響があったようである。また、寒さもあり暖房商品がよく売れている。

（建設業）…比較的規模の大きい民間案件の受注があった。

（職業安定所）…タクシー、代行運転の求人が出ている。まん延防止等重点措置による飲食店等の制限がなくなったことが影響している模様である。

○「変わらない」

（乗用車販売店）…直近では中古車販売の実績が非常に悪い。在庫も少なく商品確保がかなり厳しくなっている。

（住関連専門店）…近年、客の仏具類への関心が薄れてきているので当店の来客数も減少しているが、今月は何とか売上を確保している。

（観光名所）…感染状況の変化により団体の予約状況は落ちている。しかし、団体予約がなくなった分、少人数の振り客が増えており、訪れた客に関してはよく金を落としてくれている実感があるため、それほど状況は変わっていない。

（出版・印刷・同関連産業）…前年10月頃から原材料の値上げ依頼が増えてきた。販売価格に転嫁しづらかったが、企業努力にも限界があり、値上げ交渉を本格化していく。

（広告業協会）…新規感染者数の急増でG o T oキャンペーンも早期に再開することが難しくなり、予定していた旅行会社、宿泊施設、飲食店等関連業種の広告出稿がストップしている。広告業界では業績が戻りつつあったが、更なる上積みは期待できない状況になっている。

（人材派遣会社）…3か月前と比べ、人材関連の企業、靴や医薬品の専門商社で求人活動を開始する企業が増えている。また、一時と比べると小売でも採用に踏み切るケースが増えている。ただ、飲食業はなかなか浮上のきっかけがつかめていないようで、3か月前と比べても、積極的に採用するという状況には至っていない。

○「やや悪くなっている」

（百貨店）…初売りは前々年には満たないものの、久しぶりににぎわいを見せたが、月半ばからの新規感染者数の増加に伴い、ファッションアイテム中心に減速している。ただし、第5波のときほどの急激な落ち込みではない。

（コンビニ）…新型コロナウイルス第6波の影響が出ている。

（その他専門店[ガソリンスタンド]）…販売価格の異常なまでの高騰により節約志向が強くなっている上に、新型コロナウイルスの感染拡大で外出が減っていることから、販売量が減っている。

（その他小売[ショッピングセンター]）…初売りからバーゲンセールと今月のスタートは順調だったものの、中旬以降、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、来客数、購買状況が急速に悪化している。

（高級レストラン）…予約数、来客数が全く伸びてこない。

（観光型ホテル）…新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により正月明けから客足は悪くなっている。ガ

ソリン価格の高騰などの要因もあるとみている。

(通信会社) …新型コロナウイルスの感染拡大により、新規感染者数が過去最多を更新し、まん延防止等重点措置の対象地域にもなった影響で訪問契約などにキャンセルが出ており、影響が出始めている。

(美容室) …新型コロナウイルスオミクロン株の影響で一週間ほど前から客のリターンサイクルが長くなっている。また、新規客も用心してなのか、数がかなり少なくなっている。新型コロナウイルスの影響で少し悪い方向に進んでいる状況である。

(その他非製造業[飲食料品卸売業]) …当県においても感染拡大が続いている。人々の防衛意識の高まりから、外食への人出が減少し、新年会の予約もキャンセルが多数出ている。昼間も在宅勤務が増えていることで中心部のランチ需要が減少しており、総じて飲食店を取り巻く環境は悪化している。

(新聞社[求人広告]) …求人広告の扱い件数が減っている。その他の広告も減少傾向にある。新型コロナウイルスオミクロン株の登場と、新規感染者数の急拡大が大きく影響していると考えられる。

○「悪くなっている」

(商店街) …新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大の影響で、客の数が極端に少なくなっている。

(一般小売店[酒]) …今月中旬頃からの新規感染者数の急拡大を受けて、客先の飲食店ではほぼ全ての予約がキャンセルとなり、それに伴い販売量が急激なダウンに追い込まれている。新規感染者数が減少する見込みも全くないなか、販売量は更に落ち込むとみている。

(衣料品専門店) …年明けから雪が多く除雪作業などに追われ、後半は新型コロナウイルスオミクロン株のクラスターなどの影響で、来店もままならないような状況である。

(その他専門店[白衣・ユニフォーム]) …年明け早々は新型コロナウイルスの影響もなく、このまま良い状態で進んでくればと考えていたが、月末からまん延防止等重点措置が適用になり一気に冷え込んでいる。年末年始は観光地に客が戻って活気が出たが、これでまた元のもくあみである。

(一般レストラン) …月初めは予約が好調で良くなるかと思っただけ、第6波の影響かキャンセルが相次ぎ、1月だけで70~80名分のキャンセルが出ている。客が全く来なくなっており、開店休業が続いている。

(旅行代理店) …新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、まん延防止等重点措置が適用となり、個人旅行はキャンセルが相次ぎ、新規予約はない状況である。団体旅行は一般法人が依然として申込みがない状況が継続しており、教育旅行は1月中旬以降2月までの間で出発予定の修学旅行が中止となっている。3月以降分も中止又は延期が検討されている。旅行需要での景気は急降下している。

(タクシー運転手) …新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数が、これまでの最大感染者数をはるかに上回り、老いも若きも外出を控える人が非常に多くなっている。タクシーは人々の外出が売上に直結しており、今月半ばから1日当たりの売上がダウンしている。

(食料品製造業) …1月初旬こそ良かったが、中旬以降、特に下旬は新型コロナウイルスオミクロン株の拡大により来客数が減っている。

(輸送用機械器具製造業) …半導体不足による生産台数減産の影響で、生産工場の稼働停止や生産設備停止があり、注文数が減少している。

(輸送業) …第6波の影響で客足、受注量共に減少している。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(商店街) …現在の新型コロナウイルスの影響が薄れ、その分消費が戻り、徐々に良くなっていくとみている。

(百貨店) …3回目のワクチン接種や経口薬などにより、新規感染者数は新年度までには落ち着き、春物消費の最盛期には活発に動くを期待している。

(一般レストラン) …気候も少し良くなるので、新型コロナウイルスの第6波が収束し、客が少し戻ってくれることを期待している。

(観光名所) …団体の予約が減り、その分を振り客がカバーをするという状況が続いている。まん延防止等重点措置が解除されれば、団体客が増える動きに変わり、やや上向きになってくるとみている。緊急事態宣言の状況下に比べると、まん延防止等重点措置の状況下の方がやや良い感じである。

(通信業) …半導体不足の影響が徐々に解消し、受注に対して商品を提供できるようになる。

(その他非製造業[飲食料品卸売業]) …第6波が収まることで、反動として消費が増えるかとみている。

○「変わらない」

(スーパー) …新型コロナウイルス新規感染者数の急増で内食需要が高まるとみているが、商品の相次ぐ値上げで客に節約の傾向も現れている。この状況は続くとみている。

(その他専門店[靴]) …第6波が沈静化するのを待つしかない。

(通信会社) …新型コロナウイルスの感染状況次第である。

(職業安定所) …原油価格の高騰、不安定な海外サプライチェーン、新型コロナウイルス感染症の第6波の影響で、足踏み状態あるいは後退にならないか心配である。

○「やや悪くなる」

(コンビニ) …新型コロナウイルス新規感染者数の増加に伴い、売上、来客数が低下するとみている。マスクを着用せず入店する客も増えている気がする。

(観光型ホテル) …新型コロナウイルス感染が収束しない限り、先が見えない状況が続くとみている。

(輸送業) …新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大もさることながら、当社にとって現時点での大きなマイナス要因は原油価格の高騰である。原油市場の取引価格をみても高止まり状態が続くことが予想され、更なる高騰も十分あり得る。景気動向については悲観的な見方をせざるを得ない。

(広告代理店) …このまま感染拡大が収束しなければ、更に悪化する見通しである。

(公認会計士) …現在、新型コロナウイルスオミクロン株が流行しており、まん延防止等重点措置が適用されている県が出ている。これを考えると再度小売、サービス、飲食関係の売上が落ちると予想される。この第6波が収束しない限り、景気回復は難しいと予想する。

(人材派遣会社) …新型コロナウイルスオミクロン株のまん延とそれに伴う経済活動の停滞や、ウクライナの国際不安など景気を下振れさせる要素が多い。実際に新型コロナウイルスオミクロン株に起因していると思われる求人見送りなどの声を聞くようになってきている。

(新聞社[求人広告]) …新型コロナウイルスオミクロン株が猛威を振るっており、先が全く見通せない。イベントも中止になっている。

○「悪くなる」

(旅行代理店) …向こう1か月少々は感染拡大に伴い需要の谷を迎えていくことになるかとみている。一方では、感染が収束することで需要が回復し、さらに、各県民割やGo Toキャンペーン等が再開することで需要が爆発することへの期待もある。

(土石製品製造業) …生産に必要な原材料の価格高騰が続いている。生活面でも値上げラッシュが続いており、賃金上昇が望めないなかで景気は悪化するとみている。

(金融業) …当県初のまん延防止等重点措置適用となり、対象地域の人通りは昼夜問わず激減している。濃厚接触者の隔離によって経済活動に影響が出ることが考えられる。また今後、まん延防止等重点措置の適用範囲が県内全域に拡大する可能性は否定できない。前向きな要因は見当たらない。